

ふじみ野市ゼロカーボンシティ宣言

～2050年 CO2排出量実質ゼロの実現～

近年、地球温暖化が原因とされる気候変動により、甚大な被害をもたらす自然災害が地球規模で発生しております。こうした状況は、安全・安心な市民生活に大きな影響を及ぼすものであり、温室効果ガスの排出量削減が喫緊の課題となっております。

2015年に採択されたパリ協定において、世界全体の平均気温の上昇を産業革命以前に比べて2℃未満に抑制すること及び1.5℃に抑える努力を追求することが世界共通の長期目標として掲げられています。

また、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書において、温暖化を1.5℃で止めるためには今世紀半ばの二酸化炭素量を実質ゼロにすることが求められています。

これを受け、政府において、2050年までに温室効果ガス排出を実質ゼロにする、「カーボンニュートラル」が宣言され、地球規模の大きな問題にも地方自治体レベルでの力強い推進が求められています。

ふじみ野市には、多くの豊かな自然が残されており、これらを未来に引き継いでゆく責任があります。

私たち一人ひとりが強い使命感を持ち、市民・事業者・行政が一体となり、「オールふじみ野」で2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことをここに宣言します。

令和4年10月1日

ふじみ野市長 高畑 博